

加茂小地域 地域別計画

＜第2期 平成30～34年度＞

平成30年4月策定

加茂小学校区コミュニティ推進協議会

目次

第1章 地域別構想	1
1 地域別構想とは	1
2 加茂小地域の地域別構想	1
第2章 地域別計画について	4
1 計画策定の趣旨	4
2 計画の特徴	4
3 計画の期間	5
4 計画の推進方法	5
5 第1期計画を終えての振り返りと今後の方針	7
6 計画の体系	8
第3章 平成30～34年度の取組み事業	9
1 継続事業	9
2 新規事業	11
3 重点プロジェクト	12

第1章 地域別構想

1 地域別構想とは

川西市では、人口減少社会・高齢社会の到来といった社会潮流の変化に適合した新たなまちづくりの目標と方向性を示すため、平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間を計画期間とする第 5 次総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」がスタートしています。

地域別構想は、第 5 次総合計画における新たな試みとして、総合計画を補完し、地域の特性や多様性を尊重したまちづくりを進めるために策定されたものです。

また、第 5 次総合計画の体系は、「健康福祉」といった行政分野の視点から、「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」という市民生活の視点に見直されています。地域別構想においても同様に、市民生活の視点ごとに、地域のありたい姿が整理されています。

2 加茂小地域の地域別構想

1) 地域の現況

加茂小地域は、川西市南部に位置し、北は JR 宝塚線沿いに、南は中国縦貫自動車道、西は宝塚市に接し、東は寺畑前川・最明寺川沿いに、加茂橋から中国縦貫自動車道側道までの範囲です。

北部に隣接する JR 川西池田駅周辺には大型商業施設などが集積し、地域内幹線道路桃源台線・川西宝塚線には商業施設があり、また一方、都市型近郊農業が営まれています。

2) 地域の魅力と課題

地域のまちづくり活動を進めるためには、地域の魅力を生かしながら課題の解決にのぞんでいくことが重要です。地域のまちづくり活動のもとになる「地域の魅力」と「地域の課題」を次のとおり整理します。

地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none">・加茂遺跡、川西市文化財資料館・宮川石器館、歴史ある鴨神社・イチジク、桃・最明寺川の清流や川沿いの梅・桜並木がある、夏の夜のホタル・JR や阪急電鉄の駅が近くて便利・第 1 公園から見る風景	<ul style="list-style-type: none">・地域への関心が低下している・自治会員が減少し、活動が活発でない・自治会役員の負担が集中している・高齢者が気軽に集まれる場が少ない・子どもの遊び場が少ない・歩道や道路の状態が悪い・空き家が増加している

3) めざす地域像

加茂小地域には、加茂遺跡があるなど、古の時代からまちの営みが脈々と続いており、私たちには後世へと伝承していく使命があります。

また、最明寺川にはホタルが飛び交い、フナが泳ぐなど自然が残る中、春には諸処に桃の花が咲き乱れ、市の特産物であるいちじくや桃の栽培が盛んな、資源があふれる地域です。

今後も先人から引き継いだ歴史や自然を、地域の誇りとして大切にし、地域の輪を広げながら、暮らしに生かしていきます。

— キャッチフレーズ —

ホタルが飛び交い、^{いにしえ}古の^{ロマン}浪漫漂う
笑顔と躍動のまち ^{かも}加茂



4) 地域のありたい姿

めざす地域像の実現に向けた地域のありたい姿を、第5次総合計画の4つの市民生活の視点(「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」)に即して掲げます。

暮らし

- 地域から一旦転出した若い人が、また戻ってきて住みたいと思えるような地域にしたい
- いちじくや桃などの特産品、遺跡などの加茂小地域にしかない資源を、地域住民が大切に
するまちにしたい
- 年齢を問わずスポーツを楽しみ、元気に過ごすことができるまちにしたい
- スポーツやレクリエーションを盛んにして生きがいつくりにつなげたい

安全安心

- 地域の全ての高齢者が元気に過ごすことができるまちにしたい
- 住民が安全で快適に生活できるよう、ルールへの遵守、マナーの普及が進んだまちにしたい

生きがい

- 子どもたちの笑顔があふれるような地域にしたい
- 地域の祭りや伝統行事に多くの住民が参加するまちにしたい

つながり

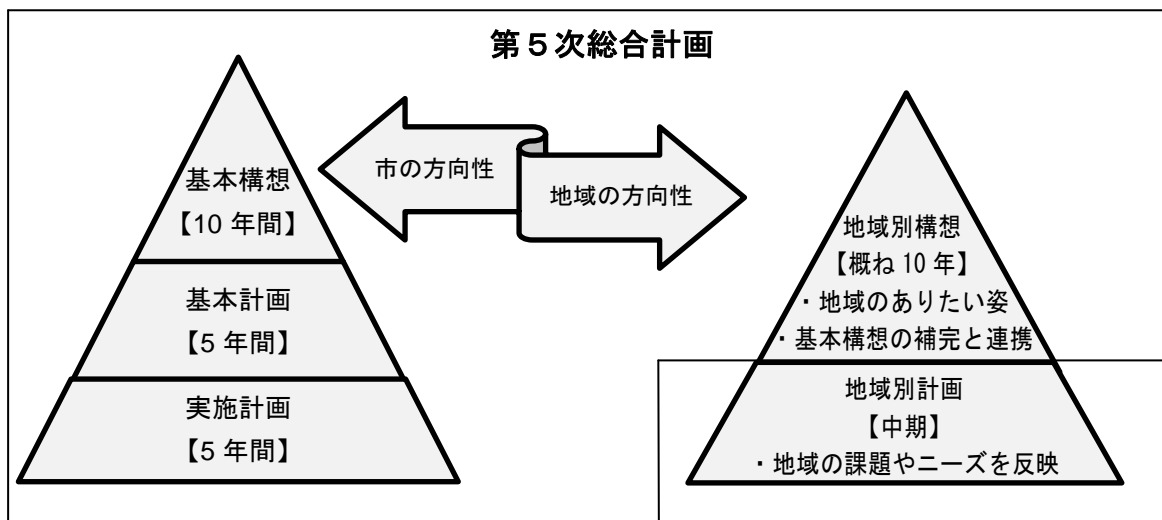
- 日常生活の中であいさつや声かけを通して、近隣住民のつながりが形成されているような
地域にしたい

第2章 地域別計画について

1 計画策定の趣旨

地域別計画は、地域別構想で記載された地域のありたい姿の実現を図り、地域全体で今後の取組みの方向を共有できる羅針盤として策定します。

また、地域別計画に位置付けられた事業の実施に必要な財源は、市からコミュニティ組織への一括交付金を基本とし、その他コミュニティ組織の自主財源等で賄われます。



2 計画の特徴

1) 地域住民が作り上げた計画

この計画は、第1期地域別計画の実績評価に基づき、今後の課題と改善点及び取組み方向を平成29年度に於いてPDCAサイクル手法により策定された計画です。

2) 地域全体で共有する計画

この計画は、地域に関わるだれもがやりたい姿を共有し、ともにまちづくりを進めるための考え方や方針を、地域住民の視点に立ち、簡潔に分かりやすく示した計画です。

3) 実効性の高い計画

この計画は、めざす地域像ややりたい姿を明確にするとともに、やりたい姿を実現するための取組みを具体的に盛り込んだ、実効性の高い計画です。

3 計画の期間

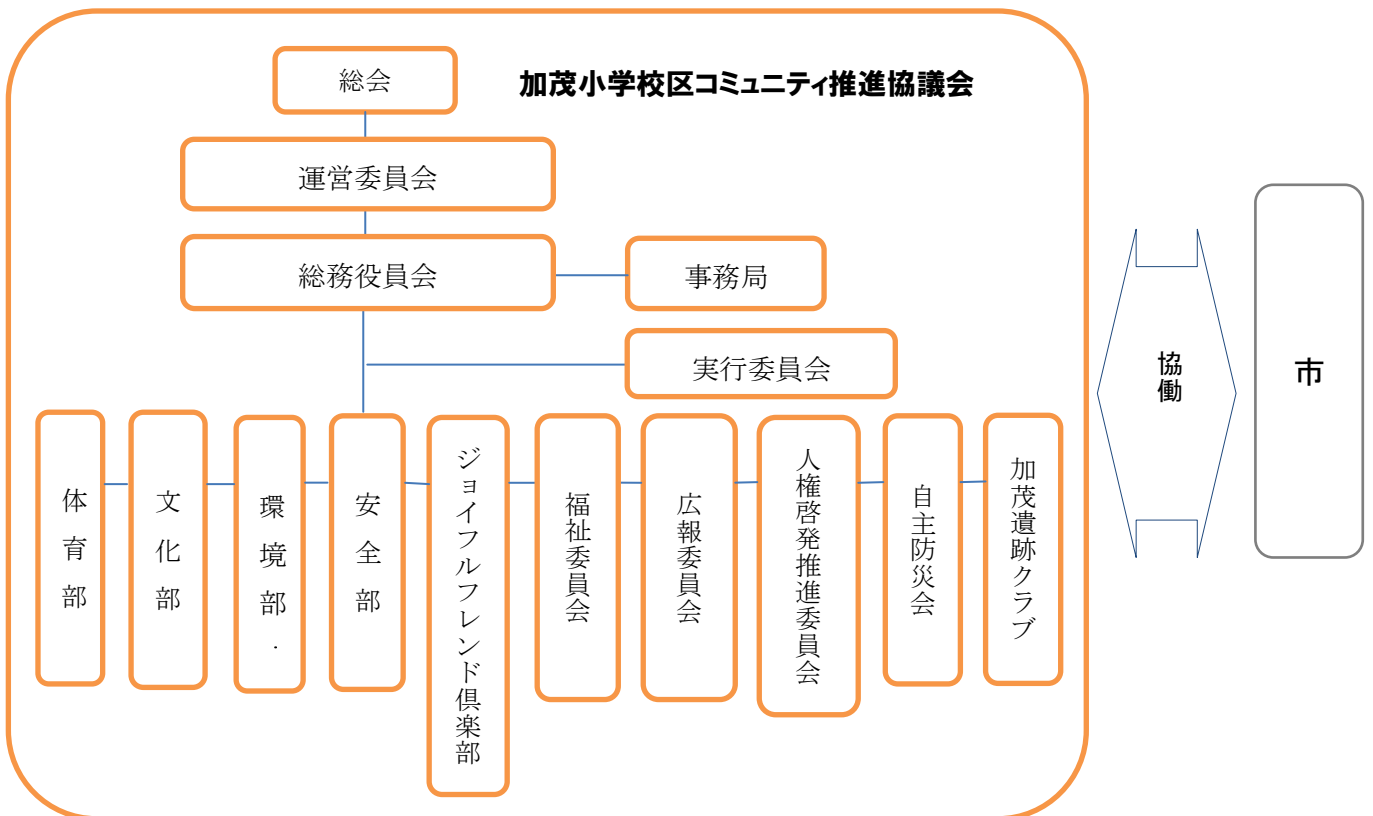
この計画は、第5次川西市総合計画と整合性を図るため、平成34年度までの期間内における計画とします。第1期計画は平成27年度から平成29年度までの3ヵ年としました。第2期計画は平成30年度から平成34年度までの5ヵ年とします。

計画名 \ 年度	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
第5次川西市総合計画	基本構想									
	前期基本計画					後期基本計画				
	地域別構想									
加茂小地域地域別計画			第1期計画			第2期計画				

4 計画の推進方法

1) 計画の実行

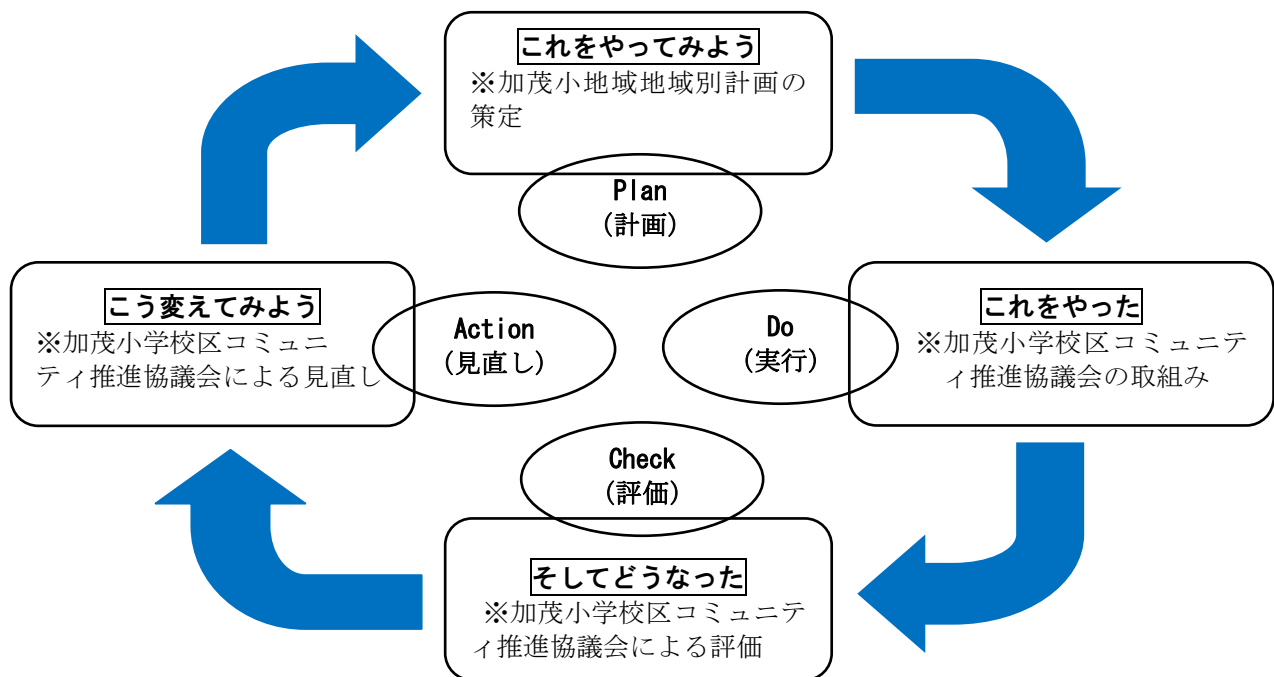
この計画は、地域を包括する公共的団体である加茂小学校区コミュニティ推進協議会が実行することが基本となります。同コミュニティ推進協議会では、自治会や各種団体、保育所、幼稚園、小・中学校、そして事業者が連携・交流・役割分担を積極的に進め、お互いの絆を強め、地域課題の解決を図ることで、よりよい地域づくりに取り組んでいきます。



2) 計画の進行管理・評価

この計画の進行管理・評価については、PDC Aサイクル（計画（Plan）をたて、それを実行（Do）し、実行の結果を評価（Check）して、さらに計画の見直し（Action）を行うという一連の流れ）を活用します。PDC Aサイクルの活用により、各取り組みの改善点を明らかにし、今後の取り組みの充実に生かすことが可能となります。

なお、状況によっては、計画期間の満了を待つことなく計画を一部変更するなど、柔軟な運用を図ります。



5 第1期計画を終えての振り返りと今後の方針

1) 継続事業（45項目）・新規部事業（8項目）についての振り返り

全体事業・部・委員会事業に於いて全ての取組みを実施。それぞれ一定の評価を得ました。尚、福祉委員会の「ボランティア育成支援事業」は「ひろばサロン会・相談事業」と重複の為及び「配食活動支援事業」は廃止。また、「手話サークル」は、手話会「花花たんぼぼ」に名称変更し継続。全体事業のにぎやか発表会は、年1回の開催希望があり、冬のにぎやか発表会は廃止。新規部事業の自主防災会は、第2期に於いて**重点**プロジェクトとして取り組みます。

2) 新規事業（14項目）についての振り返り

1. 福祉委員会・安全部・環境部・全体

- ・福祉委員会は、平成27年5月「加茂会館・南花屋敷中央会館」にカフェ「憩い」を開設。
- ・安全部は、「高齢者向け交通教室」を「安全に関する講習会」と「川西市生活安全推進連絡協議会参加」と名称変更して継続。
- ・環境部は、**重点**プロジェクト「花いっぱい大作戦」は、平成27・28年は各自治会・共同利用施設にプランター形式で配置。管理等は自治会に一任しました。平成29年は、実行委員会形式に変更。域内を再度視察実施。共同利用施設1ヶ所に決め、資源を集中投下致しました。
- ・全体の、**重点**プロジェクト「HPの開設」は、平成29年に実行委員会を発足。チャレンジ事業の応募申請し地域づくり一括交付金の加算金の承認を受け、平成30年度より事業実施する。

2. 地域活動活性化プロジェクト

- ・「親睦バス旅行で三世代の交流を図る」は、平成27年度に一度実施。今後は、「世代間交流バス旅行」に名称変更して、継続の要望があります。
- ・世代間交流ハイキングは、毎年近郊へハイキングを行う。継続の要望があります。
- ・盆踊り大会は、次期計画に於いても事業の方向性は、「検討」とする。
- ・ももまつりは、開始年度に於いて、一部に桃の輪紋病が発生したため、名称を「加茂まつり」と「カラオケ大会」に変更し、平成28年より事業を行う。継続の要望があります。
- ・**重点**プロジェクト「事業者とのコラボ」は、対象となる事業者は見当たらず、廃止とする。

3. **重点**プロジェクト「加茂遺跡クラブ（一般公募）」でのスタンプラリーなど

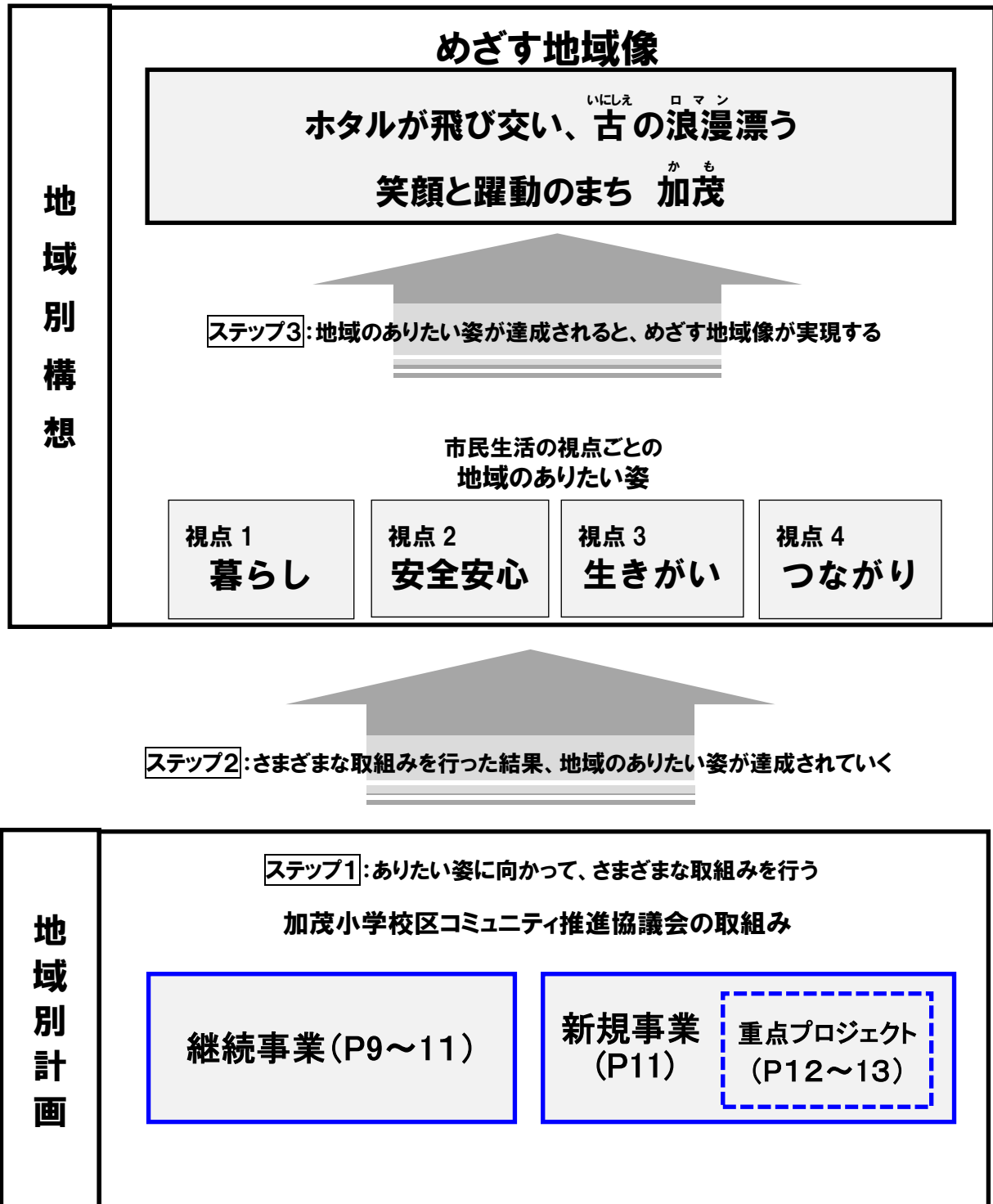
- ・平成27年度に一般公募を実施し、35名の登録を経て発足。毎年3項目の事業を行う。

3) 今後の方針

第2期地域別検討委員会に於いて、継続される事業に対して課題等のご意見を頂いて評価表を作成しており、事業実施時に反映できるよう改善を図って参ります。新規事業として、福祉委員会で世代間交流「もちつき大会」を検討します。また年間事業計画の見直しを図ります。重点プロジェクトの「加茂遺跡クラブ」「花いっぱい大作戦」「自主防災会」の更なる充実。そしてHP開設後のバージョンUPを図るためにチャレンジ事業に応募していきます。

6 計画の体系

地域別計画では、これまでコミュニティなどが小学校区単位で行っている地域課題の解決に向けた自主事業を継続事業と位置付けます。さらに、地域の課題を解決するために新たに実施する自主事業を新規事業とし、新規事業の中で計画期間内に重点的に取り組むものを重点プロジェクトとします。これらの取組みを行うことにより、地域別構想に示された地域のありたい姿が達成され、めざす地域像の実現へとつながっていきます。



第3章 平成 30～34 年度の取組み事業

1 継続事業

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点			
			暮らし	安全安心	生きがい	つながり
全体	<input type="checkbox"/> 実行委員会 市民体育祭	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 文化祭	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 学校プール開放	継続		●	●	
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 夏のにぎやか発表会	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> クリスマス寄せ植え	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 スローイングビンゴ大会 (コミ連合大会参加の予選)	継続			●	●
<input type="checkbox"/> 地域活動活性化プロジェクト	<input type="checkbox"/> 世代間交流バス旅行	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 世代間交流ハイキング	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> カラオケ大会	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 加茂まつり	拡大	●		●	●
<input type="checkbox"/> 重点 加茂遺跡クラブ (一般公募)	<input type="checkbox"/> スタンプラリー(共催事業)	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 新しい「加茂ガイドブック」作成プロジェクト	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 地域の再発見	継続	●	●	●	●
体育部	<input type="checkbox"/> 市民体育祭(重複)	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 学校プール開放(重複)	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> ふれあいグランドゴルフ	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> スローイングビンゴ大会	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> どんとまつり(支援協力)	継続			●	●

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点			
			暮らし	安全安心	生きがい	つながり
文化部	<input type="checkbox"/> 文化祭	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 講習会	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> どんとまつり（支援協力）	継続			●	●
環境部	<input type="checkbox"/> 市民体育祭終了後会場清掃	継続		●	●	
	<input type="checkbox"/> 川西市環境衛生推進大会参加	継続		●		
	<input type="checkbox"/> 川西市環境衛生推進協議会施設見学	継続		●		
	<input type="checkbox"/> ごみや環境等の講習会	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> どんとまつり（支援協力）	継続				●
	<input type="checkbox"/> 最明寺川・寺畑前川を清掃・美化と蛍の保護	継続	●	●		●
	<input type="checkbox"/> 散歩等も含め、お互いあいさつをするとともに、犬のフンのない歩道にする運動	継続		●		●
	<input type="checkbox"/> 重点「花いっぱい大作戦」 地域の環境が豊かな街プロジェクト	継続	●	●	●	●
安全部	<input type="checkbox"/> 市民体育祭準備	継続	●			●
	<input type="checkbox"/> 市民体育祭当日 駐車、駐輪場整理	継続	●			
	<input type="checkbox"/> どんとまつり（支援協力）	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> 安全に関する講習会	継続	●	●		
	<input type="checkbox"/> 川西市生活安全推進連絡協議会参加	継続	●	●		
福祉委員会	<input type="checkbox"/> 福祉ネットワーク 年3回開催	継続		●		
	<input type="checkbox"/> 地域福祉拠点の維持・運営の事業（会場費と運営費）	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> 幼稚園児と高齢者合同サロン会	継続		●		
	<input type="checkbox"/> 広報紙発行費 年2回	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> ボランティア部会（ほのぼの会活動費）	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> ひろばサロン会・相談事業	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> 障がい者支援事業 ふれあい交流・意見交換事業（加茂フラワ会）	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> 認知症啓発支援事業	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> 当事者支援事業（百寿会）	継続		●	●	●
	<input type="checkbox"/> 世代間交流事業（夏休み工作他）	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> 市民体育祭（福祉席）	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> 手話会「花花たんぼぼ」	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> 世代間交流事業「芋掘り等農業体験」と「収穫」	継続		●	●	●

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点			
			暮らし	安全安心	生きがい	つながり
福祉委員会	<input type="checkbox"/> 子育て支援	継続			●	●
	<input type="checkbox"/> 福祉委員会研修会	継続	●	●		●
	<input type="checkbox"/> カフェ「憩い」の運営	継続	●	●	●	●
広報委員会	<input type="checkbox"/> 機関紙発行(年3回発行)	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> コミュニティ行事写真撮影・ 随時取材	継続				●
人権啓発推進委員会	<input type="checkbox"/> 人権講座 講座や映画会、人形劇、絵本語りなど。年6回開催	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 啓発活動 人権標語入りティッシュ配布やフォトコンテスト 年2回開催	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 現地学習	継続		●		●
ジョイフルフレンド倶楽部	<input type="checkbox"/> お料理教室 複数回開催	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 将棋教室	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 理科教室	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> 落語教室	継続	●		●	●
	<input type="checkbox"/> カローリング大会	継続	●		●	●
	<input type="radio"/> (加茂ふれあい子ども教室)	継続			●	●
重点 自主防災会	<input type="checkbox"/> 防災倉庫点検・管理	継続	●	●	●	●
	<input type="checkbox"/> 防災訓練	継続	●	●	●	●

※事業の方向は、「拡充」「継続」「縮小」「見直し」の4段階

2 新規事業

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点			
			暮らし	安全安心	生きがい	つながり
全体	重点 HP の開設	実施	●	●	●	●
福祉委員会	<input type="checkbox"/> 世代間交流事業「もちつき大会」	検討			●	●
<input type="checkbox"/> 地域活動活性化プロジェクト	<input type="checkbox"/> 盆踊り大会 (H30~H32の実施を旨とする)	検討	●		●	●

※事業の方向は、「検討」「実施」の2段階

3 重点プロジェクト

第1期地域別計画に掲げた取組みの中から、4つの重点プロジェクトを設定します。

これらは、平成24年度に開催した地域夢・未来カフェなどで出された取組みを、重要性、実現性、効率性などの観点から再度検討を図り、重点的に取り組むと同時に第1期計画の振り返り、今後の方針より「自主防災会」を追加設定します。

注)『事業者との今後のコラボレーション』は削除する。

1) 加茂遺跡クラブ(一般公募)でのスタンプラリーなど

※関連する市民生活の視点：暮らし 安全安心 生きがい つながり

加茂には、加茂遺跡や鴨神社など、いにしへの時代から受け継いだ歴史や文化がたくさん残っています。これらの歴史や文化を新鮮なままで次世代に引き継いでいくためには、これまでの既存の取組に加えて、新たな視点の取組が今後求められると考えます。

一つの方向性としては、新しい加茂のガイドブックの作成です。加茂遺跡や鴨神社の歴史・文化をはじめ、民話や昔話など、加茂に関する歴史・文化は古から地域が継承していますが、地域で継承している人々が年々高齢化してきています。継承してきたことが途絶えないようにするためにも、早急に調査してカタチとして取りまとめる必要があります。

また、加茂の歴史や文化に人々が惹きつけられ、新たな魅力を発信するためには、これまでの資料としてのガイドブックだけではなく、物語(ドラマ)として加茂の歴史・文化を捉え直す必要があります。

そこで、コミュニティ推進協議会が主体となって行政等関係機関と連携協力を深めながら、地域の歴史と文化伝統を生かしつつ、スタンプラリーの実施、パンフレットや「加茂遺跡ガイドブック」の作成等に向けた取組みを行ってまいります。

2) “花いっぱい大作戦”地域の環境が豊かな街

※関連する市民生活の視点：暮らし 安全安心 生きがい つながり

加茂小学校区の地域美化を考えるとときに外せないのが最明寺川です。

最明寺川については、薄暗い、狭い、危険といったイメージが強く、なかなか立ち寄れないといった意見が地域の中でよく聞かれます。一方で、住民による河川の清掃や、地元のタオル会社の方が川沿いに花植えをされているなど、住民や事業者単位の清掃活動が行われています。

地域全体の美化に目を向けてみると、子ども会が行っている月2回の公園清掃、老人会のごみ拾い、自治会の有志での清掃活動などがあります。ただし、地域の美化活動に関する問題として、後継者不足の深刻化があげられます。主な原因としては、地域の問題として美化というものがなかなか根付いていかないとか、環境問題というのは息の長い、結果のなかなか見えにくい問題なので、思いが強い人だけしか残っていかないことが課題になっています。

そこで、加茂小学校区コミュニティ推進協議会環境部会を中心に、地域の美化意識の啓発活動や、花壇作り等の環境美化活動の展開に向けて、「花いっぱい大作戦」を行ってまいります。

3) HPの開設など情報の発信の強化

※関連する市民生活の視点：暮らし 安全安心 生きがい つながり

安心して生き生きと暮らし続けるためには、地域での人と人とのつながりをつくり、暮らしを支える地域活動が重要です。加茂小学校区の中でも、すでにさまざまな地域活動が活発に進められています。一方、自治会加入率の低い町内や担い手確保が急務な地域活動などがあることは、今後の地域を考えるうえで大きな課題となっています。

地域活動の活性化、自治会などの活性化のために何をすれば良いのでしょうか。既にさまざまな取組みが進められており、またやり尽くされた感があり、難しいテーマでもあります。改めて現状を振り返り、できることは何か、どこから始めるかを重視して活動アイデアを検討しました。

自治会に入っていることのメリットをしっかりと伝え、PRしていくことや、各世代が参加できるさまざまな地域行事・地域活動についての情報提供はきわめて重要です。

また、地域の中では、高齢者世帯への対応も大きな課題です。今後、高齢者の一人世帯も増えていく中、健康面の不安などからなかなか自治会の当番などができません。そうした状況への支援協力の体制強化もこれからの課題です。

そこで、コミュニティ推進協議会事業を通して、地域の理解協力を求め、活動の輪を広げていけるよう、機関紙の発行・掲示板だけでなくホームページの開設を進め、情報発信の強化に努めていきます。

4) 自主防災会事業の充実

※関連する市民生活の視点：暮らし 安全安心 生きがい つながり

当地域では平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を体験しているが、すでに23年を経過しており大変な被害を受けた記憶が薄らいでいます。近い将来、南海トラフ地震の発生が予測され、また、地球温暖化による異常気象で風水害が多発化しています。加茂小校区地域には16の自治会があり、約11,000人の方が住んでおられますが、高齢化が急速に進んでおり、災害時には被害を受けても最小限で済むように事前の対策が必要です。

1. 加茂小地区防災年次計画を策定します。
2. ハード面では、防災倉庫の資機材の充実、一時避難所及び道路防災設備を必要カ所に設置するよう要請します。
3. ソフト面では、住民の防災意識の向上を図るための出前講座を実施します。
避難行動要支援者を地域で支えあう組織づくりを進めます。
4. 災害時図上訓練（DIG）、避難所開設訓練（HUG）を通じて地域の課題を認識することが重要です。
5. 安否確認・風水害訓練、初期消火訓練・炊き出し訓練等の実地訓練を行っていきます。
6. 災害時には、自分の身は自分でまもる（自助）ことができれば、その後の近隣者を助け出す（共助）こともできます。自助には事前に、家屋の耐震化・家具固定の実施を行い、共助には防災倉庫の救助道具（バール、のこぎり、ジャッキ、土のう）を必要数揃えていきます。
7. 各種の図上・実地訓練を住民が体験しておれば、自宅から一時避難所まで、更に現地対策本部として避難所開設運営がスムーズに行えます。これらの根底となるのは、顔の見える日頃の近所づきあいが出来ていることです。訓練で課題を抽出し、解決策を実行していく（PDCA）ことが総合的な減災対策となります。

加茂小地域 地域別計画

平成30年4月策定（平成30年4月発行）
策定 第2期地域別計画検討委員会
編集・発行 加茂小学校区コミュニティ推進協議会
〒666-0025
川西市加茂3丁目13-23
電話：072-757-0210